

★☆☆ポイント☆☆★

◆◆◆特集◆◆◆

都市高速における休憩施設の拡充へ向けた取組み

(首都高速道路株式会社 / 阪神高速道路株式会社)

大都市圏の都市高速では、パーキングエリア（PA）の整備が充分ではなく、用地不足やコスト高などから新設も困難な状況となっています。そのような中、首都高速と阪神高速では現在、ETCシステムと路線外の民間施設を活用したパーキングエリア機能充実へ向けた取組みが進められています。

本稿ではそうした両社の取組みについて紹介を行います。

◆◆◆訴訟事例紹介◆◆◆

原動機付自転車が道路に生じていた隆起部分によって転倒した事故について、

道路管理瑕疵が争われた事例

<平成19年7月31日 徳島地裁判決>

(国土交通省 道路局 道路交通管理課)

【事案の概要】

夜間、原動機付自転車が道路を走行中、道路を横断する形で敷設されているコンクリート（その下には用水路が埋設されている。）とアスファルトとの境に生じた約3cm程度の窪みにより転倒し、運転者が負傷した。

本件事故の発生は、道路の設置又は管理の瑕疵によるものであるとして、道路管理者に対して治療費等の賠償を請求。

【判決要旨（請求棄却）】

本件事故当時、本件道路に生じていた危険状態は比較的軽微であり、これによって、特に二輪車の交通事故の原因に直結するほどに危険な状態が生じていたとまではいえない。

◆◆◆TOPICS◆◆◆ [社会実験 vol.1]

(国土交通省 中国地方整備局 岡山国道事務所 計画課)

岡山 表町商店街における歩行者・自転車共存社会実験の取り組みについて
岡山市表町商店街は、自転車進入禁止（9時～21時）の規制があるにも関わらず、自転車の乗り入れが多い状況であり、自転車の乗り入れに対する多くの苦情があった。

そこで、中心市街地の活性化と商店街を安全・安心に通行できる環境を目的として、国道交通省の社会実験に採択された取り組みを紹介する。

◆◇◆地域における道路行政に関する取組み事例◆◇◆

近畿地方整備局における道路管理の諸課題について

(近畿地方整備局 道路部 路政課)

近畿地方整備局において、現場管理を行ううえで懸案となっている5つの課題について、背景・目的、経過、解決策などを紹介します。

どの道路管理者でも困っている事例かと思しますので、参考にいただければ幸いです。

『神話の国しまね』新たな維持管理への挑戦

(島根県 土木部 道路維持課)

島根県は東西に約230km南北に約30kmと細長く、中国山地が海岸線近くまで迫り県土の約8割が山地部である。その急峻な地形条件や地質条件から、国県道の2車線改良率は全国41位であり、通行危険箇所も3,518箇所と非常に多い。

この道路の現状を踏まえ、本県では「能動型維持管理への移行」「地域力の結集（ハートフルしまね・地域提案型維持管理・雪みち計画・刈草の畜産農家提供）」「橋梁長寿命化修繕計画」など、維持管理に関する新たな取り組みを行っている。

編集後記

関東甲信越地方も梅雨明けし、いよいよ夏本番を迎えようとしています。

暑い日が続きますが、皆様如何お過ごしでしょうか？

地球温暖化の影響によるものなのか、年々、梅雨の時期が短く真夏日が多く感じるのは私だけではないと思います。夏は暑いものだ！と書いていても少し怖くなる時があります。毎年必ず暑〜い夏はやってくるわけですが「昔と変わったよなあ〜」と思う事がいくつかあります。

まず1つ目は女性の日傘です。昔は夏に傘をさしていると「雨は降ってないのになあ・・・」と思ったものですが、今ではごく当たり前に日傘を常備している女性を多く見かけます。それほどに温度等の 数字 ではなく、すでに人々の 感覚 として夏の猛暑が厳しくなっているのでしょう。部屋の中に居ても熱中症になってしまうお年寄りもいるという事で水分を多く取るなどの注意が必要だと思います。

お水 に対する感覚も昔と変わったと思いませんか？私が高校生の頃は 水を買う という感覚は全くありませんでした。最近では自動販売機やコンビニエンスストアでもお金を出してミネラルウォーターを買う事は日常的になり、中にはミネラルウォーターのお風呂に入っている人もいます（実話です）。いつの日か世界的な水不足により 水争奪戦 が起きるのではないか という人もいますよね・・・。

最近、環境問題に対する関心の高さからエコバックを使用したりマイお箸を持ち歩く方も増えていると思います。H I D Oの中でも紙コップは使わずにマイカップ・マイタンブラーを持参している人が沢山います。そして、先日ニュースで「マイボトルを持ち歩くのがカッコいい！！」という特集を組んでいました。このように、流行・お洒落と組み合わせでPRする事で幅広い世代の関心が環境問題に向くことはとても良いことだと思います。多くの方が小さな事からコツコツと使い捨てる生活を改善しよう！と考え始めています。後の世代まで安心してこの地球で暮らしていけるように、皆で努力を続けて行けたらと思っています。（冬生まれK）